

加盟団体 各位

(公社)全日本アーチェリー連盟
競技部長 溝井 利和
(公印省略)

競技規則改正について

平素は本連盟の諸事業に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年は競技規則の改正年に当たります。昨年9月にWA(世界アーチェリー連盟)の総会で承認されました内容が先日正式発表となりましたので確認作業を行っております。事務局長会議等で4月より運用したい旨ご案内していましたが、現状から下記のとおり概要と施行についてご連絡申し上げます。加盟団体での運用よろしくご配慮の程お願いいたします。

記

1. ラウンド名称の変更(競技規則:第106条2項、3項 他)
「FITAラウンド」を「1440ラウンド(フォーティーンフォーティラウンド)」に変更
「ダブルFITAラウンド」を「ダブル1440ラウンド(ダブルフォーティーンフォーティラウンド)」に変更
2. リカーブ部門の団体戦について(競技規則 第106条4項(3)(4)他)
 - ①各マッチは、6射2分(各競技者が2射)で行う。
ミックス団体戦は、4射80秒(各競技者2射)で行う。
 - ②各セットで、チームは最大60点(ミックス戦は40点)を獲得できる。そのセットの高得点のチームは2ポイントを獲得し、同点の場合、両チームは1ポイントを獲得する。4セットマッチで5ポイント以上に達したチームは勝者となる。4セット終了後、同ポイントの場合はシュートオフ、勝者は1ポイントを獲得する。
尚、コンパウンド団体戦は従来通り、6射4エンド(ミックス戦は4射4エンド)の合計点で勝敗を決定する。
3. フィールドアーチェリーの時間管理について(競技規則 第410条11項)
 - ①準決勝戦～決勝戦の制限時間は2分(個人戦・団体戦共)
 - ②3位決定戦・決勝戦はDOS(必須条件ではない)によって行射管理を行うことがある。

上記について2014年4月1日より2012～2013競技規則へ追加し施行します。

追加適応ですので2014年9月30日まで、上記1、2、3項の新規定、旧(2012～2013競技規則)どちらでも実施可能とします。

新規定で実施の場合、開催要項等にその旨を記載し、参加者・関係団体等に必ず周知徹底することをお願いします。

全日本アーチェリー連盟競技規則の有効期限

世界アーチェリー連盟のルール改正に伴う本連盟の対応について、下記の通り対応いたしますのでご連絡申し上げます。

記

1. 全日本アーチェリー連盟競技規則2012～2013年版は2014年(平成26年)9月30日まで有効とする。
2. WA(世界アーチェリー連盟)ルールの変更(2014年4月1日～)に伴う全日本アーチェリー連盟競技規則の改正版(2014年～版)は2014年(平成26年)10月1日より適用する。
3. 改正版(2014年～版)の印刷発行は9月末を予定。

以上

2014年3月27日

公益社団法人:全日本アーチェリー連盟